

東北民俗の会 公開講演会

東北の鹿踊りに関する講演会と被災地の神楽上演

東北民俗の会では、毎年、年次総会のおりに、各方面より講師を招聘して公開講演会を開催しています。今回は、愛媛県歴史文化博物館の大本敬久氏をお呼びして、東北から伝播した四国の鹿踊りについてお話しいただきます。あわせて、被災地で復興した民俗芸能の一つとして、宮城県石巻市雄勝地区の雄勝法印神楽を招いてその代表的演目を上演いたします。

民俗芸能に親しんできた方も、これから親しんでみたい方も、どうぞ気楽におでかけください。

日時

2013年6月15日(土) 13:00~16:00

会場

仙台市市民活動サポートセンター 地階 市民活動シアター

仙台市青葉区一番町4-1-3 TEL022-212-3010

地下鉄広瀬通駅下車西5番出口間近

主催

東北民俗の会 事務局 東北大学大学院文学研究科 宗教学研究室 気付

TEL・FAX 022-795-6022/E-mail :jimukyoku@tohokuminzoku.com

プログラム

13:00 公開講演

講師 大本 敬久 氏 (愛媛県歴史文化博物館 専門学芸員)

「東北から伝播した四国の鹿踊—宇和島藩伊達家との関係—」

15:00 神楽上演

雄勝法印神楽 (雄勝法印神楽保存会)

演目 「鬼門」「日本武尊」

*参加無料・予約不要・先着順



新旧の神楽面

雄勝法印神楽(おがつほういんかぐら)…宮城県石巻市(旧・雄勝町)に伝わる民俗芸能の神楽。1996年12月20日に重要無形民俗文化財に指定された。

写真撮影:

3がつ11にちをわすれないためにセンター
(せんだいメディアテーク)